



平成27年3月期決算説明会資料

平成27年5月21日

安藤ハザマ



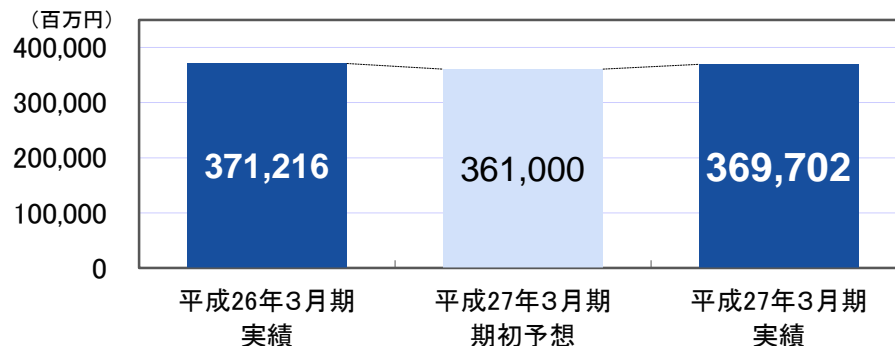
Ⅰ. 平成27年3月期 決算の概要

決算のハイライト



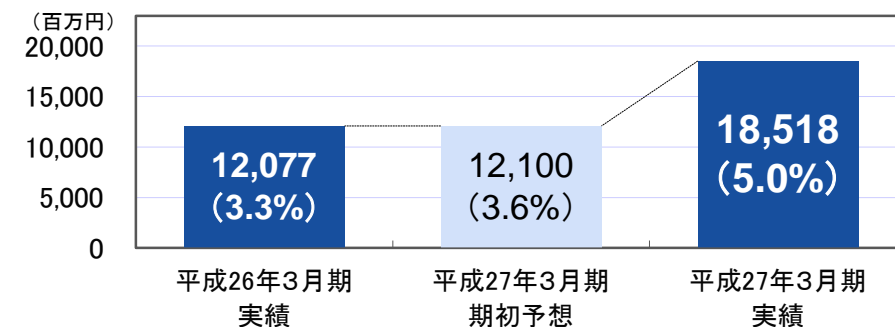
連結売上高 **3,697** 億円

(前年同期比 Δ 0.4%)
(期初予想比 +2.4%)



連結営業利益 **185** 億円(5.0%)

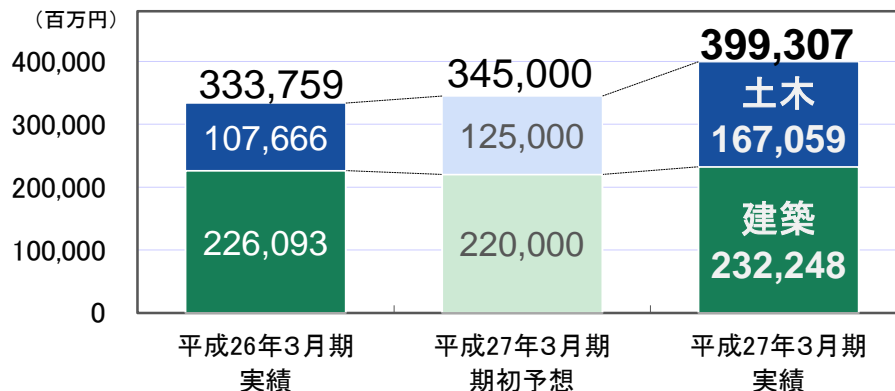
(前年同期比 +53.3%)
(期初予想比 +53.0%)



- 国内土木の採算性が高水準で推移
- 建築の採算性重視・施工体制確保の取り組みを徹底

個別受注高 **3,993** 億円

(前年同期比 +19.6%)
(期初予想比 +15.7%)



- 国内で土木建築の受注が順調
- 海外で建築の受注が堅調

【連結】経営成績



	平成26年3月期		平成27年3月期		
	実績 ①	期初予想 ②	実績 ③	前年同期比 差異③-①	期初予想比 差異③-②
売上高	371,216	361,000	369,702	△1,513	+8,702
売上総利益	28,406	29,700	36,011	+7,605	+6,311
販売費及び一般管理費	16,328	17,600	17,493	+1,164	△106
営業利益	12,077	12,100	18,518	+6,440	+6,418
経常利益	11,258	10,900	18,120	+6,862	+7,220
当期純利益	16,414	6,400	7,240	△9,173	+840

(単位：百万円、単位未満切捨)

受注工事(下半期)



厚幌ダム建設事業ダム本体工事

発注者：北海道 胆振総合振興局
工期：平成26年10月～平成30年3月
工事場所：北海道



プロジスパーク習志野5プロジェクト

発注者：白馬特定目的会社
工期：平成27年3月～平成28年3月
工事場所：千葉県



YKKベトナムニヨンチャック工場2期新築工事

発注者：YKK VIETNAM CO.,LTD.
工期：平成26年11月～平成27年11月
工事場所：ベトナム社会主義共和国





完成工事(下半期)

中央環状品川線大橋連結路工事

発注者：首都高速道路株式会社
工期：平成19年5月～平成26年12月
工事場所：東京都



ららぽーと富士見新築工事

発注者：三井不動産株式会社
工期：平成25年10月～平成27年2月
工事場所：埼玉県



シンズリ道路建設計画第三工区2 / 2期後段

発注者：ネパール国公共事業交通省道路局
工期：平成24年12月～平成27年3月
工事場所：ネパール連邦民主共和国





II. 平成27年3月期 決算の詳細

【個別】完成工事高・完成工事総利益



平成26年3月期

平成27年3月期

	実績 ①	期初予想 ②	実績 ③	前年同期比	期初予想比
				差異③－①	差異③－②
完成工事高	346,129	340,000	347,555	+1,425	+7,555
土木工事	110,109	110,000	121,572	+11,462	+11,572
建築工事	236,019	230,000	225,983	△10,036	△4,016
完成工事総利益	24,797	26,900	32,714	+7,917	+5,814
(完成工事総利益率)	(7.2%)	(7.9%)	(9.4%)	(+2.2P)	(+1.5P)
土木工事	12,331	12,000	14,132	+1,800	+2,132
	(11.2%)	(10.9%)	(11.6%)	(+0.4P)	(+0.7P)
建築工事	12,466	14,900	18,582	+6,116	+3,682
	(5.3%)	(6.5%)	(8.2%)	(+2.9P)	(+1.7P)

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】受注高



	平成26年3月期	平成27年3月期			
	実績 ①	期初予想 ②	実績 ③	前年同期比 差異③－①	期初予想比 差異③－②
受注高	333,759	345,000	399,307	+65,547	+54,307
土木工事	107,666	125,000	167,059	+59,393	+42,059
国内	100,307	118,000	162,497	+62,190	+44,497
海外	7,358	7,000	4,562	△2,796	△2,437
建築工事	226,093	220,000	232,248	+6,154	+12,248
国内	192,889	193,000	200,496	+7,607	+7,496
海外	33,204	27,000	31,751	△1,453	+4,751

(単位：百万円、単位未満切捨)

【連結】貸借対照表



前期末
平成26年3月31日
①

当期末
平成27年3月31日
②

増減
②－①

(単位：億円、単位未満切捨)

	前期末 平成26年3月31日 ①	当期末 平成27年3月31日 ②	増減 ②－①
流動資産	2,059	2,158	+98
固定資産	546	538	△8
資産合計	2,606	2,697	+90
流動負債	1,784	1,786	+2
固定負債	278	264	△14
負債合計	2,062	2,050	△11
純資産	543	646	+102
負債・純資産合計	2,606	2,697	+90
有利子負債(億円)	394	336	△57
D/Eレシオ*(倍)	0.73	0.53	△0.21
自己資本比率(%)	20.6	23.7	+3.1

- ・受取手形・完成工事未収入金等の減少 (△23)
- ・繰延税金資産の取崩し (△47)
- ・現金預金の増加 (+88)
- ・投資有価証券の増加 (+49)

- ・利益剰余金の増加 (+57)
- ・その他有価証券評価差額金の増加 (+30)

※ D/Eレシオ:有利子負債/自己資本(純資産－新株予約権－少数株主持分)



III. 平成28年3月期の業績見通し

【連結】今期業績予想



	平成27年3月期	平成28年3月期	
	実績 ①	期初予想 ②	前期比 ②－①
売上高	369,702	376,000	+6,297
売上総利益	36,011	37,800	+1,788
販売費及び一般管理費	17,493	19,200	+1,706
営業利益	18,518	18,600	+81
経常利益	18,120	17,200	△920
当期純利益	7,240	10,500	+3,259

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】完成工事高・完成工事総利益予想



	平成27年3月期	平成28年3月期	
	実績 ①	期初予想 ②	前期比 ②－①
完成工事高	347,555	355,000	+7,444
土木工事	121,572	120,000	△1,572
建築工事	225,983	235,000	+9,016
完成工事総利益	32,714	35,000	+2,285
(完成工事総利益率)	(9.4%)	(9.9%)	(+0.5P)
土木工事	14,132	16,000	+1,867
	(11.6%)	(13.3%)	(+1.7P)
建築工事	18,582	19,000	+417
	(8.2%)	(8.1%)	(△0.1P)

(単位：百万円、単位未満切捨)

【個別】受注高予想



	平成27年3月期	平成28年3月期	
	実績 ①	期初予想 ②	前期比 ②－①
受注高	399,307	370,000	△29,307
土木工事	167,059	140,000	△27,059
国内	162,497	133,000	△29,497
海外	4,562	7,000	+2,437
建築工事	232,248	230,000	△2,248
国内	200,496	202,000	+1,503
海外	31,751	28,000	△3,751

(単位：百万円、単位未満切捨)

当期および今期の配当(1株あたり)



年間配当金

	中間配当	期末配当	合計	配当性向 (連結)
平成27年3月期	3 円	5 円	8 円	20.4 %
平成28年3月期 (予想)	5 円	5 円	10 円	17.6 %



IV. 新「中期経営計画」について



新「中期経営計画」の策定の経緯

合併効果

外部環境の好転

予定の数値計画を大幅に上回る業績を確保

技術者・技能労働者の
確保・育成

建設資機材価格の
高止まりへの対策

市場環境の変化に対応し企業価値の更なる向上を目指す

新「中期経営計画」を策定



戦略テーマ

中期ビジョン

前・中期経営計画
(平成26年3月期～
平成27年3月期)

「新たな挑戦、
新しい企業価値の創造」

中期経営計画
(平成28年3月期～平成30年3月期)
「魅力ある企業グループ
への変革」

1. 持続的な成長を
遂げられる会社
2. 「やりがい」と「ゆとり」のある
人生設計が実現できる会社
3. 社会と共存していける会社
4. 経営・財務基盤の
安定した会社



目標数値（平成30年3月期：計画最終期）

	個別	連結
建設受注高	4,000億円程度	—
売上高	3,800億円程度	4,000億円程度
営業利益	190億円程度	200億円程度
営業利益率	安定的に 5%以上	
ROE	—	10%以上
配当性向	—	20%程度

※目標数値はローリングします



1. 持続的成長に向けた取り組み

① 施工能力(質・量)の向上

- ・ 合理化・省力化・機械化の技術開発を促進し、現場に投入する
- ・ 施工体制の安定確保のために、協力会社とのパートナーシップを強化する
- ・ ICTの活用などにより、施工生産性・利益生産性を大幅に改善する
- ・ グループ全体でBIM・CIM活用による技術力・生産性向上を加速・拡大する

② 事業領域の拡大

- ・ ポストオリンピックを見据え、建設以外の事業進出に取り組む
- ・ グループ会社がそれぞれの強みを生かし、グループ全体の魅力向上に貢献する

③ 調達施策

- ・ 海外調達の推進により、コストの改善、調達の安定化を図る

④ 経営資源の確保

- ・ 採用活動を強化し、人材の質・量を確保する
- ・ 階層別・職種別研修の再構築により、人材育成を強化し、一人ひとりのレベルアップを目指す



2. 「やりがい」と「ゆとり」の実現に向けた取り組み

① 労働環境の改善

- ・ 労働時間の短縮・休日取得の適正化に向けた取り組みを展開する

② 「やりがい」の伴うキャリア形成の促進

- ・ 計画的な職務経験や自己研鑽を通じて、「やりがい」の伴うキャリアを形成する



3. 社会との共存に向けた取り組み

① 安全・品質への取り組み

- ・ ものづくりの原点である、安全管理・品質管理を徹底する

② 建設産業の抱える課題への取り組み

- ・ 社会保険未加入問題の解決、重層下請構造の改善に向けて、協力会社と協働する

③ 社会環境の変化に対する取り組み

- ・ 女性・高齢者・外国人など、人材の多様化に対する取り組みを推進・拡充する
- ・ 会社法改正やコーポレートガバナンス・コード制定に対応し、ガバナンス体制を強化する
- ・ 株主との対話を重視し、IR・SR活動を展開する



4. 経営・財務基盤の安定・強化に向けた取り組み

① 経営・財務基盤の安定・強化

- ・ 売上高を向上させ、高水準の営業利益(率)を維持する
- ・ 持続的成長への投資を継続しつつ、自己資本の着実な積み上げに努める

② 株主への利益還元

- ・ 企業価値の持続的な向上と、長期的に安定した株主への利益還元を目指す
(配当性向20%程度)



本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業及び業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。